

九州・沖縄地区の 「サービス業」の倒産 238 件 過去最多更新

集計開始後、過去最多



本件照会先

石倉 達也（調査担当）
帝国データバンク
福岡支店情報部
092-738-7779（直通）
tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/02/25

九州・沖縄地区「サービス業」倒産動向調査(2025年)

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

九州・沖縄地区で、「サービス業」の倒産が、2025年に238件発生し、集計開始以来、過去最多となった2024年の227件を上回り、過去最多を更新した。業種中分類別では、エステ、美容室を含む「美容業」「老人福祉事業」などの『その他サービス業』が93件で最多となった。『広告・調査・情報サービス業』59件、『専門サービス業』26件、『医療業』22件、『娯楽業』13件、『旅館・その他宿泊所』『自動車整備業・駐車場業、修理業』各11件、『教育』3件で続いた。十分な価格転嫁が出来ていないなか、原材料費やエネルギーコストの増加が収益を圧迫していることに加え、金利上昇による負担増加が追い打ちをかけるなど、「サービス業」の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。

帝国データバンク福岡支店は、九州・沖縄地区における「サービス業」の倒産発生状況について調査・分析を行った

集計対象：負債1,000万円以上・法的整理による倒産

集計期間：2000年1月～2025年12月

「サービス業」の倒産は 238 件、過去最多を更新

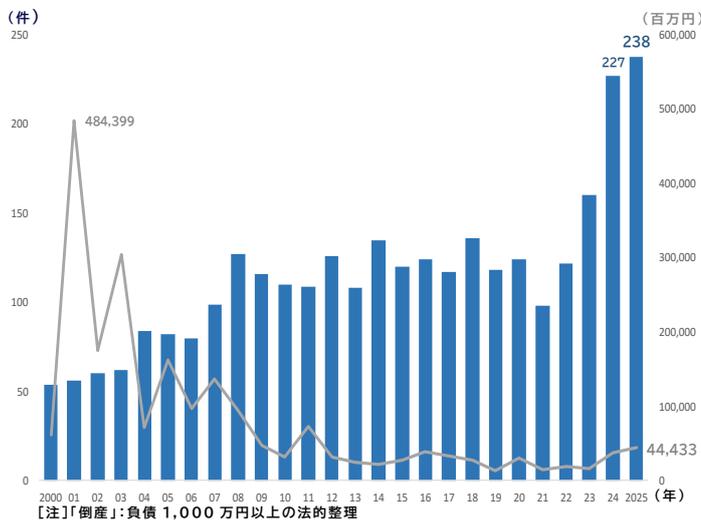
九州・沖縄地区「サービス業」の倒産が 4 年連続で増加し、2025 年は 238 件となり、集計基準を変更した 2000 年以降で最も多かった 2024 年(227 件)を上回り、過去最多を更新した。また、集計以来、2 年連続で 200 件を超えた。負債総額は 444 億 3,300 万円となった。

2025 年の倒産を業種中分類別では、エステ、美容室を含む「美容業」「老人福祉事業」などの『その他サービス業』が 93 件で最多となった。「受託開発ソフトウェア業」「労働者派遣業」「広告代理業」など『広告・調査・情報サービス業』59 件、「経営コンサルタント業」「土木建築サービス業」など『専門サービス業』26 件、『医療業』22 件、『娯楽業』13 件、『旅館・その他宿泊所』自動車整備業・駐車場業、修理業』各 11 件、『教育』3 件で続いた。

「サービス業」の倒産は、2022 年から増加に転じ、4 年連続増加、2 年連続で 200 件超と高い水準で推移している。十分な価格転嫁が出来ていないなか、原材料費やエネルギーコストの増加が収益を圧迫していることに加え、金利上昇による負担増加が追い打ちをかけるなど、「サービス業」の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。

九州・沖縄地区 「サービス業」倒産動向

「サービス業」倒産件数・負債額推移



「サービス業」倒産 業種中分類

